

南大沢スマートシティ実施計画

～深度化・まとめ～

令和5年5月

南大沢スマートシティ協議会

目次

1. 概要	4
2. 地域の概況	9
3. 地域の二ーズ	49
4. 地域の将来動向・計画	72
5. 地域の課題	82
6. スマートシティの今後の方向性	87
7. 実現イメージとロードマップ	110
8. ICTインフラの方向性	126
9. 実証実験	135
10. 実施運用・体制	177
11. 今後の展開と課題	195
補足 実施計画への意見と対応	198

本計画の位置付け

南大沢地区は、令和2年2月に公表した「スマート東京実施戦略」で、先行実施エリアとして、最先端の研究とICT活用による住民生活の向上が融合した持続可能なスマートなまちを目指すとしている。

都では、この実現に向けて、幅広い分野の参画が必要なことから、令和2年10月に、地元八王子市や都立大、通信事業者など産学公連携による「南大沢スマートシティ協議会」を立ち上げ、モビリティ、まちの賑わい、情報活用の部会ごとの検討を進めるとともに、WEBを活用した地域ニーズの調査や先端技術に係わる様々な実証実験を行いながら、地域の課題に即した実践的なまちづくりを検討している。

令和3年10月には、取組の方向性を示した「南大沢スマートシティ実施計画Ver1）」を公表し、意見募集を行った。

令和4年5月には「南大沢スマートシティ実施計画（Ver2）」を公表し、意見募集を行った。また、住民等とのワークショップの内容や事業者・団体ヒアリング結果の反映、MaaS等の新たな実証実験の実施と評価、将来の運営主体の検討等を行い、計画の深度化を図った。

令和4年11月には、PRイベント（南大沢スマートシティウィーク）を開催し、これまでの取組について紹介するとともに、電動キックボードやデジタルサイネージ等の新たな実証実験を開始し、年度末にかけて評価を行った。

この度、「本実施計画（Ver3）」を公表するとともに、令和5年度も引き続き、協議会・部会において、各施策の社会実装やこれらの基盤となるICTインフラの構築を進めていく。



南大沢スマートシティ実施計画のスケジュール

- 協議会の検討、実証実験の実施、技術開発やサービス実装の状況、住民等の意見を踏まえ、令和2年度は「実施計画（Ver1）～計画の方向性の整理～」、令和3年度は「実施計画（Ver2）～計画の深度化～」、令和4年度は「実施計画（Ver3）～計画の深度化・まとめ～」を策定し、令和5年度からの先端技術・サービスの社会実装を開始する。

